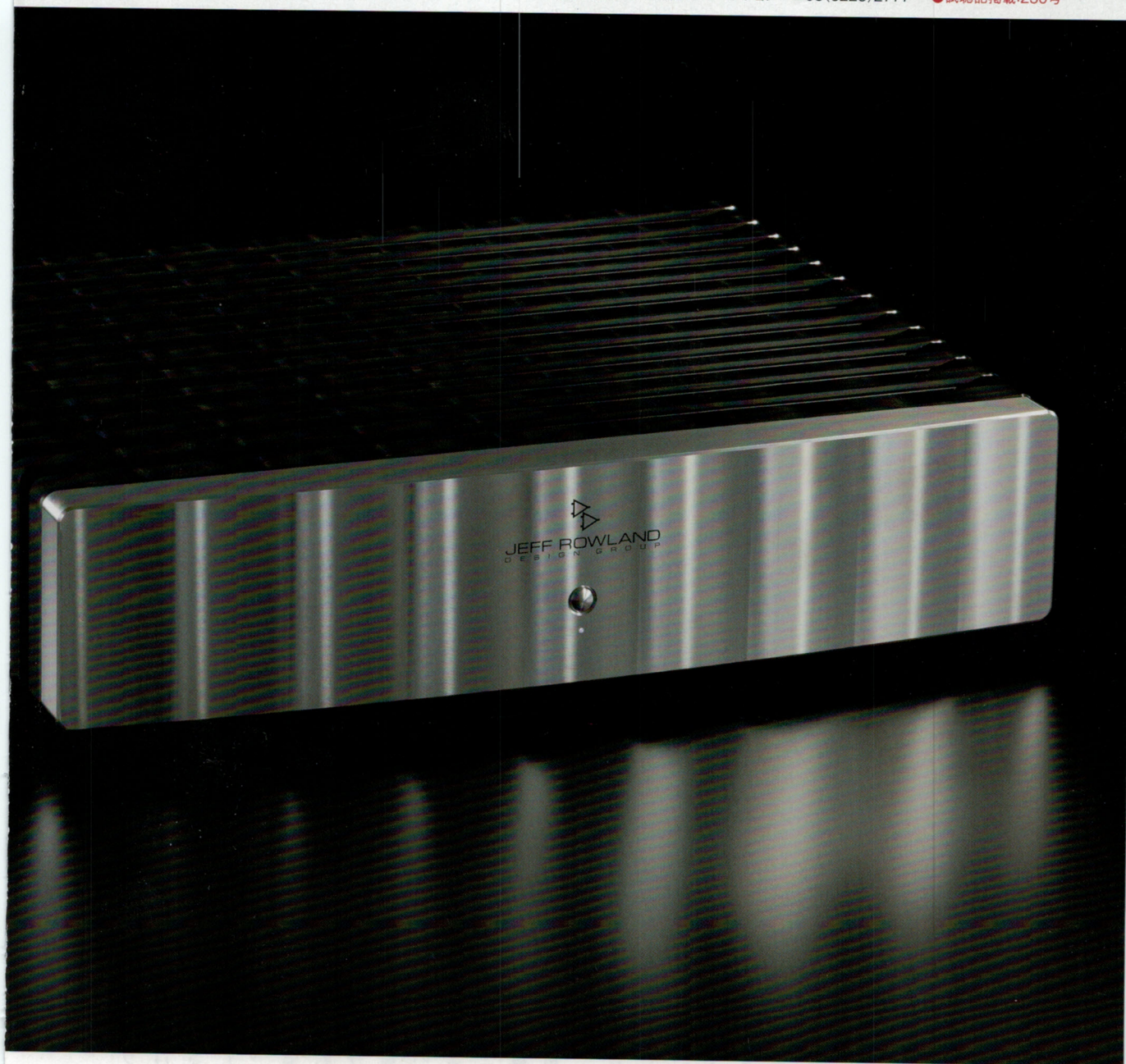


POWER AMPLIFIER

ジェフ・ロウランド Model 555 ¥2,400,000

●出力:150W+150W(8Ω)、250W+250W(4Ω)、330W(BTL接続時、8Ω) ●入力インピーダンス:40kΩ(ステレオ)、20kΩ(モノラル) ●寸法/重量:W400×H100×D370mm/15kg ●問合せ先:株式会社太陽インターナショナル ☎03(6225)2777 ●試聴記掲載:230号



小野寺 ジェフ・ロウランドは、かつてはモンスターアンプの印象が強かったと思うんです。

三浦 モデル7とかモデル9とかね。

小野寺 もちろん小型の製品も開発してきてはいるのですけれど、パワーアンプの場合は、サイズとドライブ力との関係は確かにあるわけで、たとえばクラスD方式で小型でパワフルという行き方もあるわけですが、同社の大型機を聴いてしまうと……というところがなくはなかった。もちろん、これはスピーカーの能率などにも関わってくることなので、小型で小出力でも朗々と鳴ることだってあるの

JEFF ROWLAND

ですけれども、現代のハイエンドスピーカーではなかなかそうはいきません。山之内 しかし、今年ステレオサウンドグランプリを受賞したこのモデル555は、比較的小型であるのだけれども、小型であることをいい意味で忘れさせる、素敵なステレオパワーアンプですよ。

和田 そうそう。黙って聴かせられたら、このサイズのアンプから出る音だとは信じられないような鳴りっぷりのよさがあります。山之内 小型にすることであれば、さつき小野寺さんがおっしゃった

ようにクラスDにするやり方もあるんだけど、これはそうではなく増幅回路はオーソドックスなAB級。ただ、電源部にスイッチング方式を採用して、小型化にうまく成功した例と言えるでしょうね。

傳 スイッチング電源はひじょうに高効率で電流もかなり取れますので、小型であつてもパワフルでエネルギー豊富な音可以实现できるんですよ。

山之内 このメーカーはスイッチング電源にも長い経験がありますから、ノイズ対策などもおそらく万全で、たいへんに洗練されたアンプに仕上がって

います。どんな音楽でも音量を気にすることなく、上質なサウンドに浸ることができた。和田 ぼくは小さいものが好きだから、このサイズで仕上がりも綺麗で音がいいというだけで感激しちゃう(笑)。

小野寺 ノイズ対策に対してはジェフ・ロウランドは昔からこだわりがあつて、このアンプでも入力部にトランスを入れて高周波ノイズをカットしていたりしている。そうした手法はこれまでの同社アンプでも採用されていましたけれど、今回はノイズ対策を施した静けさの中に、これまで以上の躍動感やパワフルさが得られているところが素晴らしいポイントになっていると思うんですね。質感も山之内さんがおっしゃるようにとっても上質ですし。

三浦 ぼくはこのアンプ、パワフルと言うよりも、中域の充実度が高いサウンドが印象的でした。

小野寺 ワイドレンジを誇示する音ではないですよ。

三浦 そう。だから安心して聴くことができる。そこが魅力ではないのかな。

サイズが信じられない

鳴りっぷりのよさ。

魅力的な小型化の成功例